

■兵庫県立福崎高等学校・兵庫県立播磨福崎高等学校ギター・マンドリン部

【演奏曲：風のとおり道、ふるさと】



兵庫県立福崎高等学校・兵庫県立播磨福崎高等学校ギター・マンドリン部は、毎年夏に大阪で行われる全国大会を最大の目標として、日々練習に励んでいます。

校内では文化祭や卒業式で演奏を披露するほか、春にはここ福崎町エルデホールで定期演奏会を開いています。また、地域からの様々なイベントにも参加させていただいています。

本日は、皆さんも聴かれたことのある懐かしい曲を、部員一同心を込めて演奏いたします。

第2部 ふれあい文化の祭典 ひょうご民俗芸能祭 in 福崎

■日時：令和7年8月3日（日） 13：00～16：00

■会場：福崎町エルデホール

1. オープニング

○山田文庫キッズダンス 演目：福崎音頭／柳田國男と河童

2. 「民俗芸能」解説

柳田國男・松岡家記念館顧問 東京学芸大学名誉教授 石井正己

3. 民俗芸能披露

○三原中学校郷土部・南淡中学校郷土芸能部

演目：伊達娘恋緋鹿子 八百屋お七 火の見櫓の段

○余田大歳神社浄舞保存会 演目：浄舞

○兵庫県伝承民俗芸能文化協会

演目：揖保川筏流し唄、篠山節／明石音頭、明石夜曳き唄
／加古川舟唄、加古川節、デカンショ節

○碧月会

演目：江戸の四季／雪次郎あやめ笠／おんな流転節

○熊野神社浄舞保存会 演目：浄舞

○宇原獅子舞保存会 演目：宮入／神楽／相之山

○特定非営利活動法人 和楽

演目：銀の馬車道／七種／赤兎馬



柳田國男生誕150年記念

日本民俗学の父・柳田國男生誕の地 兵庫県福崎町

第46回 山桃忌



【兵庫県指定民俗文化財 柳田國男生家】

うぶすなの
はかなきことも
こひしかりけり
通泰

うぶすなの
森のやまもも
高麗犬は
懐かしきかな
もの言はねども
國男

山桃忌とは

柳田國男とその兄、井上通泰の祥月にあたる8月に、二人の偉業を偲んで「山桃忌」を開催しています。「山桃忌」の名前は、故郷を詠んだ二人の歌に幼いころに遊んだ山桃の木が出てくることに由来しています。

主催 福崎町

後援 兵庫県、日本民俗学会、日本民話の会、女性民俗学研究会、
温故学会、神戸新聞社（順不同）

開催日程

第1部 故郷・福崎から

■日時：令和7年8月2日（土） 13：00～17：00
■会場：福岡町エルデホール

* * * * * 山桃忌式典 * * * * *

1. 黙祷
2. 献花

* * * * * 講演 * * * * *

1. 主催者あいさつ
2. 来賓あいさつ
3. オープニング 兵庫県立福崎高等学校・兵庫県立播磨福崎高等学校ギター・マンドリン部
4. 基調講演 「柳田國男が語る故郷・福崎」
柳田國男・松岡家記念館顧問 東京学芸大学名誉教授 石井 正己
5. 記念講演 「『海上の道』を読みなおす ―地理学的なロマンティズム―」
作家・詩人 池澤 夏樹

（休憩）

* * * * * シンポジウム * * * * *

シンポジウム「知の巨人と故郷 柳田國男・南方熊楠・小泉八雲」

コーディネーター	石井 正己	
パネリスト	東京大学特任教授・執行役副学長 佐藤 健二	
	慶応義塾大学准教授・南方熊楠顕彰会理事 志村 真幸	
	小泉八雲記念館館長・島根県立大学短期大学部名誉教授 小泉 凡	

～ 夜の催しご案内 ～

民俗学の夕べ

8月2日（土）18：00～21：00 鈴の森神社境内にて

柳田國男が生まれ育った辻川区で毎年山桃忌の夜に開催されるお祭りです。
各種演芸や鬼太鼓、餅まきなどが行われます。

もちむぎのやかたレストラン

8月2日（土）19：00 オーダーストップ

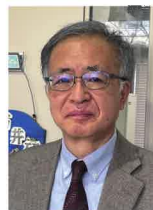
福岡町の特産館もちむぎのやかたでは、夏におすすめのもち麦麵「福の糸」をはじめとする
もちむぎを使ったさまざまな商品を販売しています。
レストランは8月2日（土）のみ延長営業します。もちむぎを使用した料理をぜひご賞味ください。

柳田國男・松岡家記念館／神崎郡歴史民俗資料館

8月2日（土）21：00 まで開館

8月2日（土）のみ開館時間を特別に21：00まで延長します（入館は20：30まで）。
山桃忌の後に、ぜひお立ち寄りください。

■基調講演「柳田國男が語る故郷・福崎」



柳田國男・松岡家記念館顧問 東京学芸大学名誉教授 石井 正己

1958年東京生まれ。東京学芸大学名誉教授。日本文学・日本文学専攻。2012年から柳田國男・松岡家記念館顧問。
主な編著書に『図説 遠野物語の世界』『感染症文学論序説』（河出書房新社）、『源氏物語 語りと絵巻の方法』（三弥井書店）、『100分de名著ブックス 柳田國男 遠野物語』『文豪たちの書いた関東大震災』（NHK出版）、『テキストとしての柳田國男』（三弥井書店）、『菅江真澄 図絵の旅』『柳田國男自伝』（KADOKAWA）など多数。

■記念講演「『海上の道』を読みなおす ―地理学的なロマンティズム―」



作家・詩人 池澤 夏樹

1945年北海道生まれ。多くの旅を重ね、3年をギリシャで、10年を沖縄で、5年をフランスで過ごして、今は信州在住。
1987年に『スティル・ライフ』で芥川賞を受賞。その後の作品に『マシアス・ギリの失脚』、『静かな大地』など。詩集には『池澤夏樹詩集成』、『丹後』など。
『池澤夏樹＝個人編集 日本文学全集』に柳田國男、折口信夫、南方熊楠、宮本常一の巻を作る。

■シンポジウム「知の巨人と故郷 柳田國男・南方熊楠・小泉八雲」

東京大学特任教授・執行役副学長 佐藤 健二

コーディネーター：石井 正己

「第二の故郷」について

1957年群馬県生まれ。東京大学執行役・副学長、特任教授。専門は歴史社会学。
主な著書に『読書空間の近代』（弘文堂）、『風景の生産・風景の解放』（講談社）、『流言蜚語』（有信堂高文社）、『歴史社会学の作法』（岩波書店）、『ケータイ化する日本語』（大修館書店）、『柳田國男の歴史社会学』（せりか書房）、『真木悠介の誕生』（弘文堂）など、校注・解説として『明治大正史世相篇』（角川ソフィア文庫）がある。



慶応義塾大学准教授・南方熊楠顕彰会理事 志村 真幸

「南方熊楠の二つの「故郷」―和歌山とロンドン―」

1977年神奈川県生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。2001年より、和歌山県田辺市に残る南方熊楠旧邸の資料調査に従事。2006年に開館した南方熊楠顕彰館にて、展覧会や講演会を担当してきた。
著作として、『南方熊楠のロンドン』（慶應義塾大学出版会、2020年）、『未完の天才 南方熊楠』（講談社現代新書、2023年）、『南方熊楠の生物曼荼羅』（三弥井書店、2024年）などがある。



小泉八雲記念館館長・島根県立大学短期大学部名誉教授 小泉 凡

「漂泊する世界市民の故郷観をめぐって」

1961年東京生まれ。成城大学大学院で民俗学を専攻後、松江へ赴任。妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践活動や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界のゆかりの地で展開する。小泉八雲記念館館長、焼津小泉八雲記念館名誉館長、島根県立大学短期大学部名誉教授、小泉八雲曾孫。
主著に『怪談四代記―八雲のいたずら』（講談社）、『小泉八雲と妖怪』（玉川大学出版）ほか。

